

# 株式会社メディビック

第6期 事業報告書  
2005.1.1 ▶ 2005.12.31



MediBic

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2000年2月、日米欧などの国際共同チームとセララ・ジェノミクス社がヒトゲノム配列の概要解説の宣言をした4ヶ月ほど前に、メディビックは誕生しました。

当時は、遺伝子情報を活用したテラーメイド医療の黎明の時期でした。国内の研究開発市場では、先端をゆく欧米の動向を意識する一方で、IT技術導入の遅れによる情報共有・一元化の遅れが目立ち、大量のデータ管理やデータ分析もほとんど利用できない状況でした。

このような状況下でメディビックは、プロのコンサルタントの視点で、黎明期の変化に対応して、安定的な企業成長を目指す独自のビジネスモデルを打ち立てて、それを実行してまいりました。

すでに開始していたコンサルティング事業に引き続き、インフォマティクス事業に参入して、高度なデータ管理及び処理技術を開発し、更には数学的により高度なデータ解析システムの開発に努めました。

2003年9月のマザーズ上場後の翌04年には、株式公開で得た資金と信用力を元に創薬事業に参入して、メディビック自らテラーメイド創薬<sup>®</sup>を行う準備を整えました。

また、以上のバイオ技術に基づいた業務を、資本提携や資金調達といった金融面から支えるために、同じく2004年より投資・投資育成事業にも参入しております。今後はライフサイエンス業界における投資銀行として、独自の収益も積極的に追求していく方針です。

現在は、国内研究開発市場は成熟期に移行したとはいえない状況で、テラーメイド医療にかかわるさまざまな技術は日進月歩で進化しています。近年では、遺伝子情報をバイオマーカー(生体内のあらゆる分子レベルでの変化の指標)というさらに広い概念で、より膨大なデータの解析を通じて、病気の原因を特定して、安全で有効な新薬の開発を行う方向に進んでいます。

今後におきましては、コンサルティング機能の一層の強化や解析技術の高度化、更に知的財産の蓄積などを行いながら、国内研究開発市場の変化に機敏に対応し、安定成長を目指していきます。

代表取締役社長 橋本 康弘 (易周)

## Highlights

- ・インフォマティクス事業の進展 ▶ (P3)
- ・新しいステージを迎えた投資・投資育成事業 ▶ (P5)
- ・メディビックの事業展開—2005年度— ▶ (P7)
- ・中期経営計画 (2006年—2008年) ▶ (P8)

個人に適した、より安全でより有効な医療を目指して、ユニークな経営戦略を展開しています。



## ■ コンサルティング事業

創薬の各専門領域に必要なアドバイスを提供する、当社の基本事業です。

## ■ インフォマティクス事業

ITを駆使した創薬支援事業です。研究データシステムの開発業務、研究データの管理・解析業務を行っています。現在、欧米で主流になりつつあるバイオマーカー探索技術の国内導入を進めています。

## ■ 先端医療事業

遺伝子治療、細胞治療、再生医療のための細胞加工・製造施設の設計、設備・機器等の選定支援及び維持運営サービスの提供を行う事業です。

## ■ 創薬事業

新薬開発を行う事業です。テーラーメイド創薬<sup>®</sup>即ち、薬の効き方や副作用の発現に影響を与える因子を、インフォマティクス技術を用いて解析し、患者に最適な薬を開発することを目指します。

## ■ 投資・投資育成事業

ライフサイエンス分野を中心とした投資銀行業務を行う事業です。資金提供のみならず、経営面・事業面における複合的なアドバイス及び業務遂行支援を、メディックグループのリソースを集約して提供していきます。

## インフォマティクス事業の進展

世界の医療・医薬品業界が希求する

『バイオマーカー』探索支援サービスに経営資源を集中へ

個の医療を実現するために必要な、ファーマコゲノミクス (Pharmacogenomics: ゲノム薬理学) に基づく技術開発から始まったインフォマティクス事業は、時代が求めるニーズに応じて、データマイニング技術をコアとした、バイオマーカーを活用した総合的な技術サービスへと業務の幅を広げつつあります。

高度な知識やノウハウが多面的に必要とされるこのサービスにおいては、すでに大手研究機関などからの大型受託を受けています。2006年からはバイオマーカー探索支援に経営資源を集中し、技術やサービスを強化してまいります。

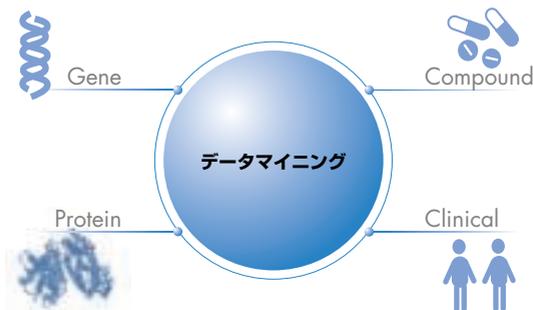
### ■メディビックのバイオマーカー探索支援

データマイニング技術によるバイオマーカー探索支援

遺伝子情報や、プロテオミクス情報をはじめとした生体の特性や変化の指標であるバイオマーカーは、創薬や診断・治療の場において科学的根拠に基づいた判断を簡易にし、適切な処方を実現するため、世界の医療・医薬品業界

から希求されているものです。当社の目指すテーラーメイド創薬<sup>®</sup>を実現させる上で、非常に重要な技術となります。当社では、バイオマーカーの違いや変化、更にはそれらと病気や薬との関連性を解析し、医学的に意義のある結果として導きだす、データマイニングの技術をコア技術として持っています。

マイニング (Mining) とは、蓄積した膨大なデータの中から、意味のある相関関係や有効なパターンを発見する技術のこと。当社のデータマイニング技術は、Gene (遺伝子)、Protein (タンパク質)、Compound (化合物) や Clinical (臨床) など、さまざまな分野においてデータ解析を可能にし、医療や医薬品の研究開発の各分野において、活用されつつあります。

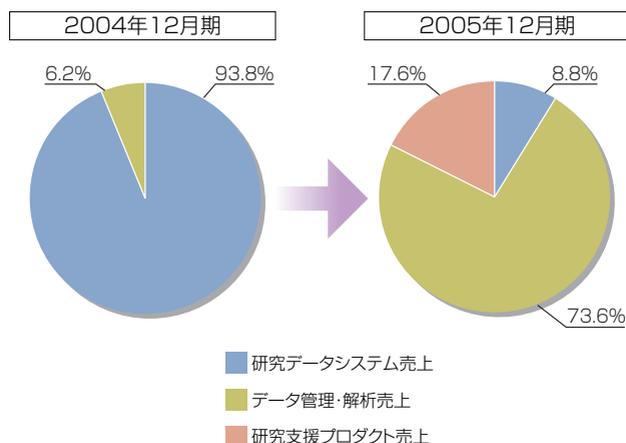


## ■売上構成比の変化

研究データシステム依存型からバイオマーカー探索支援型へ

当社では、インフォマティクス事業から、バイオマーカーを活用した創薬支援事業へ業務の幅を広げる一方で、販売・受託業務から、独自の知的財産獲得にもとづくロイヤリティモデルへの変更、プロジェクト単位の契約獲得の強化、研究データ管理等長期契約獲得の強化、ソフトウェアの売り切り型から年間契約型への移行など、さまざまな収益安定化施策を実行しています。

インフォマティクス事業売上構成比の変化



売上においても、顧客のバイオマーカー探索を支援するソリューションとして、研究データシステム単体で提供するだけでなく、データ管理・解析業務やプロダクト販売など組み合わせて提供する機会も増えてきています。

今後はデータマイニング技術を基礎として、バイオマーカー探索技術を更に強化していきます。

### 「研究データシステム開発業務」

研究データの管理・解析が効率的に行えるよう顧客のニーズに合わせたカスタマイズを施し、オリジナルのシステムを構築したり、パッケージソフトの共同開発・販売を行う業務です。また、これらのシステムの自社利用により、以下のデータ管理・解析業務を行っています。

### 「データ管理・解析受託業務」

臨床データ・遺伝子データの管理や、それらデータの中から意味のある相関関係や有効なパターンを導き出したり、予測モデルを構築したりすることを受託する業務です。遺伝子多型（SNPs）データ解析、遺伝子発現データ解析のみならず、数値化が可能なあらゆる解析に対応しています。

### 「研究支援プロダクト販売業務」

米国バイオ企業が開発した製品技術において、国内のバイオマーカー研究におけるニーズがあり、かつ、当社と技術的な相乗効果が見込める製品の、国内導入の支援を進めています。

## 新しいステージを迎えた投資・投資育成事業

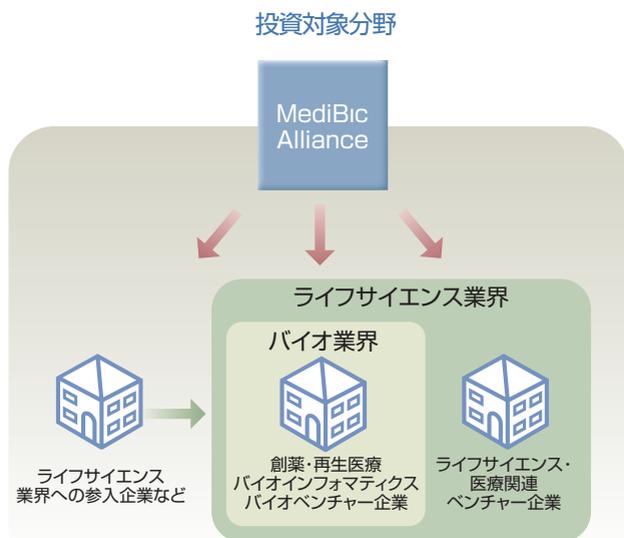
メディックグループの戦略的投資銀行としてライフサイエンス分野を中心としたフィナンシャルサービスの提供拡大へ

グループ会社である、株式会社メディック・アライアンスは、ライフサイエンス分野を中心とした投資銀行として業界全体の活性化を目指すと同時に、メディックグループの新しい事業機会発掘及び収益機会拡大の役割を担います。

### ■メディック・アライアンスの事業内容

メディック・アライアンスは、メディックグループの投資・投資育成事業を担う事業会社です。

ベンチャー企業に対して単なる資金提供のみならず、経営面、事業面における複合的なアドバイス及び業務遂行支援を行っています。



#### ●投資業務

世界的に産業がボーダレス化していることに伴い、既存のライフサイエンス産業のプレーヤーだけでなく、他産業からの参入を検討している企業への投資・サポートも行います。

#### ●ファンド業務

先端技術ファンド、個別ファンド、上場期待ファンドなど多彩な投資ファンドを組成します。またライフサイエンス分野の目利きとしての投資顧問も行います。(投資顧問業登録関財第1377号)

#### ●M&Aアドバイザリー業務

M&A候補先の選定及び紹介、M&Aによる企業価値の向上のための戦略的アドバイス、財務的アドバイス、M&A後の統合プロセスなどにつき総合的なアドバイスを行います。

#### ●投資育成業務

商品開発・マーケティング支援、販売戦略立案、資金提供、資金調達のアレンジ、事業計画立案・実行など、成長ステージに合わせたサポートをマネジメント・チームと一体となって行います。

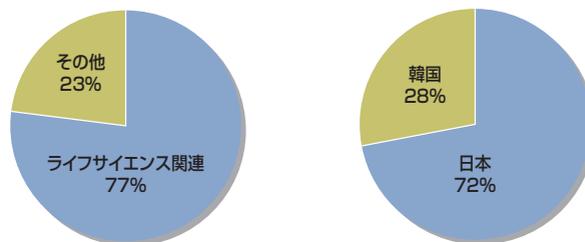
## ■金融ニーズの進化に応えたサービスを創造

株式会社メディビック・アライアンスは、少数精鋭のプロフェッショナル集団です。メディビックとともに共同事業支援を行うことで、質の高いサービスを提供しています。

アジアを中心とした国内外の有望なベンチャー企業等に対して資金提供のみならず、経営面・事業面における複合的な支援サービスを提供し、その企業価値を高めることを目標としております。現在、約20社の営業投資有価証券を保有しており、2005年中に国内1社が上場となりました。

今後も、強力な人的ネットワークや、各株式市場及び経済状況を背景に、有望な投資案件の発掘・投資を進め、着実に成長を続けてまいります。

投資先の主な内訳（業種別・国別）



## ◆◆ 2006年度以降の中国・韓国等における事業展開 ◆◆

高い経済成長率で世界的に注目されている中国では、香港、上海、深圳の証券取引所のみならずNASDAQへの上場を実現する有望なベンチャー企業が多数現れています。

一方、韓国では昨年、ベンチャー企業向け株式市場KOSDAQの上場要件が変更となり、赤字企業でも、技術力のある企業については、IPOが可能となりました。また最近では、経営状態のよくないKOSDAQ上場企業を、優良な未公開企業が買収するケースが増えてきております。

こうした多様な投資機会をいち早く捉え、現地のキーパーソン等と強固なネットワークを持つことにより貴重な情報をキャッチし、技術力あるいは成長力のみならず経営陣の信頼度まで深くデューデリジェンスを行い、中国・韓国における「プライベート・エクイティ」事業を積極的に展開いたします。

## メディビックの事業展開 —2005年度—

### メディビックの提携戦略

#### 2005年2月

##### NuGEN Technologies, Inc.

事業内容：ゲノムやタンパク質の検出技術・増幅技術の開発・販売  
提携内容：微量RNA増幅技術販売

#### 2005年3月

##### 第一製薬(株)

事業内容：医薬品等の研究開発、製造及び販売並びに輸出入等  
提携内容：医薬品開発ベンチャー向け投資ファンドの共同設立

#### 2005年4月

##### ReaMetrixグループ

事業内容：細胞機能解析ソリューションと試薬の製品開発、製造  
提携内容：細胞機能解析の新規ソリューションの共同開発及び販売

#### 2005年9月

##### (財)かすさディー・エヌ・エー研究所

事業内容：DNAの構造解析、DNAに関するデータ等の蓄積及び提供等  
提携内容：新薬開発等支援事業の共同開発

#### 2005年9月

##### Bunstatグループ

事業内容：手術室等の設計、建築、設備販売  
提携内容：事業協力

#### 2005年11月

##### (財)先端医療振興財団

事業内容：国内のライフサイエンス分野におけるトランスレーショナル  
リサーチを推進するための臨床研究の情報発信  
提携内容：検体保管サービスの共同事業



メディビックグループの最新情報は  
こちらでご覧いただけます。

- グループニュース、製品サービス情報やIR情報などを知りたい方は  
・ 株式会社メディビック ホームページ  
<http://www.medibic.com>
- 投資・投資育成事業の詳細、投資先情報などを知りたい方は  
・ 株式会社メディビック・アライアンス ホームページ  
<http://www.medibicalliance.com>

企業体質の大胆な変革を目指し、  
「中期経営計画（2006年—2008年期）」をスタートさせました。

お知らせ

その1

2006年7月をめどに、ホールディング・カンパニー制に移行します。

組織再編を行い、本社機能の強化と各事業会社の権限・責任の明確化を図ります。

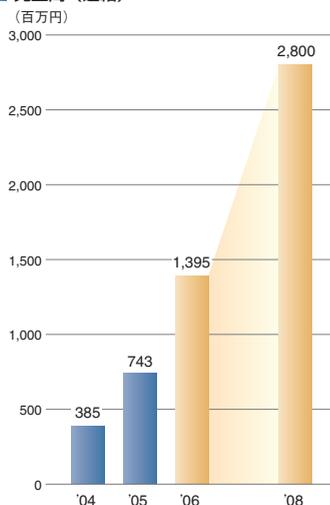
お知らせ

その2

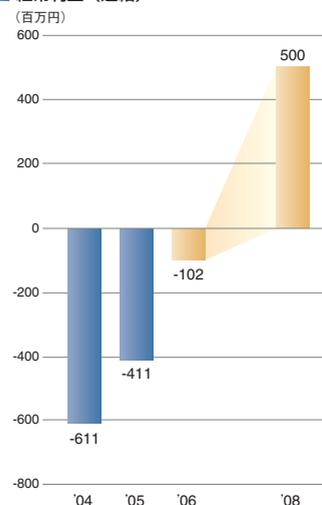
2008年度の売上28億円、経常利益5億円を目指します。

医療関連の複数領域で事業を行うことにより、リスクヘッジとシナジー効果を狙い、ローリスク・ミドルリターンの安定的な企業成長を目指します。

■ 売上高（連結）



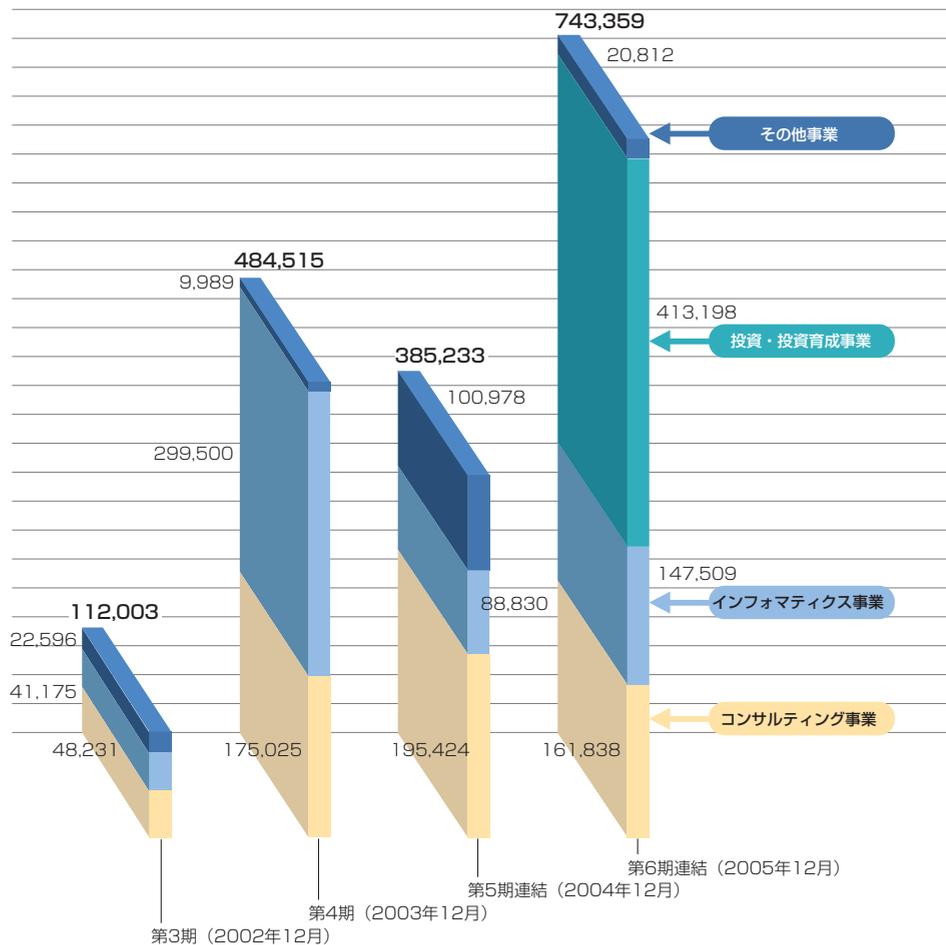
■ 経常利益（連結）



※2004、2005年は実績、06年以降は予想数値です。

## 第6期営業活動のご報告

■ 事業別売上高の推移（単位：千円）



※当社は第5期が連結初年度であります。

■ 主要経営指標の推移

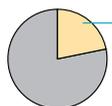
	第3期 '02/12	第4期 '03/12	第5期連結 '04/12	第6期連結 '05/12
売上高 (千円)	112,003	484,515	385,233	743,359
経常利益又は損失(△) (千円)	△84,430	22,616	△611,956	△411,537
当期純利益又は損失(△) (千円)	△87,996	20,716	△632,462	△425,452
株主資本 (千円)	295,253	2,497,916	2,019,490	2,280,194
総資産 (千円)	355,363	2,550,161	3,482,469	3,273,769
株主資本比率 (%)	83.1	98.0	58.0	69.7

## ● 営業の概況

当連結会計期間において、インフォマティクス事業では、細胞機能解析等、欧米で主流になりつつあるバイオマーカー探索技術の国内導入支援を進めています。また、投資・投資育成事業においては、(株)メディビック・アライアンスがライフサイエンス企業を中心とした投資銀行業務を開設し、投資先

の新規上場企業数も着実に増え続けています。以上の結果、当連結会計期間の売上高は、743,359千円（前年同期比93.0%増）、経常損失411,537千円（前年同期比32.8%改善）、当期純損失425,452千円（前年同期比32.7%改善）となりました。

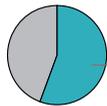
## ● 部門別の状況



### コンサルティング事業

売上高比率 21.8%

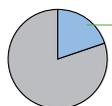
コンサルティング事業においては、生物由来医薬品等の確認申請、医薬品や医薬機器などの国内申請に加え、DMF (Drug Master File) 作成など米国FDA (US Food Drug Administration) への申請業務や、新医薬品・医療機器の開発支援業務などについて着実な売上を確保できました。また、国内企業のアメ리카でのマーケティング支援や欧米医薬品企業の日本進出のための技術評価といったグローバル開発支援や、遺伝子発現解析関連のコンサルテーションとして新規案件を獲得いたしました。しかし、投資・投資育成事業の本格化に伴いリソースが再配分されたことなどにより、結果として、コンサルティング事業の連結売上高は、161,838千円（前年同期比17.2%減）となりました。



### 投資・投資育成事業

売上高比率 55.6%

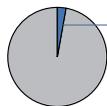
投資・投資育成事業においては、2005年6月に(株)メディビック・アライアンスが当社のコンサルティング事業を通じて拡大する投資・投資育成ニーズを受け、ライフサイエンス企業を中心とした投資銀行業務を開始いたしました。投資においては、国内外約20社の営業投資有価証券を保有しており、当連結会計期間中に国内1社、翌年1月にも1社上場しております。そのほかにも、期間中に、第一製薬(株)と共同で「メディビック・アライアンス テクノロジーファンド1号」の設立や、藍澤証券(株)販売の「上場期待日本株ファンド」の投資助言業務を受託しております。更に投資育成の一環として、投資先企業等の扱うライフサイエンス関連商品の販売及び販売支援も行っております。結果として、投資・投資育成事業の連結売上高は、413,198千円となりました。



### インフォマティクス事業

売上高比率 19.8%

インフォマティクス事業においては、当該事業の基盤であるデータマイニング技術を用いた遺伝子発現解析や、前連結会計年度に提携したStrand Life Sciences社(インド)との共同開発による遺伝子発現解析システムavadisの提供、NuGEN Technologies社(アメリカ)との共同ソリューションの販売などで新規受注を獲得しております。更に、9月には財団法人かずさディー・エヌ・エー研究所と分子機能解析や新薬候補化合物探索等に関する共同開発、11月には財団法人先端医療振興財団と検体保管サービスの共同事業を開始しております。結果として、インフォマティクス事業の連結売上高は、147,509千円（前年同期比66.1%増）となりました。



### その他事業

売上高比率 2.8%

その他事業においては、細胞加工センターの開設・運営支援を行う(株)アドバンスト・メディカル・ゲートウェイの活動が堅調に稼働しているものの、前連結会計期間での売上で当連結会計期間において他事業へ再配分されたものもあり、結果として、その他事業の連結売上高は、20,812千円（前年同期比79.4%減）となりました。

## ● 今後の課題と来期の見通し

来期におきましては、本格的な成長段階のステップとして、中期経営計画を策定し、ビジョンを明確にまいります。持株会社制度の導入により、迅速かつ柔軟な経営判断と経営資源の効果的な配分を行い、各事業基盤の拡充を図り、グループとしての事業価値の最大化を目指します。コンサルティング事業においては、業界や企業の分析、技術全般の分析といった戦略コンサル機能を強化し、他事業への専門的な支援をすることで、グループ全体の収益確保に貢献してまいります。インフォマティクス事業においては、デー

タイムニング技術を基盤としたバイオマーカー探索技術の提供によって、より専門性の高い分野へシフトし、売上の獲得と利益率向上を目指します。投資・投資育成事業においては、国内投資のみならず、中国・韓国におけるプライベート・エクイティ事業を強化し、ライフサイエンス分野を中心に有望なベンチャー企業を対象として、収益機会の拡大、投資パフォーマンスの向上に努めます。通期の連結業績予想につきましては、売上高1,395百万円、経常損失102百万円、当期純損失192百万円を見込んでおります。

※ 業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものです。さまざまな要因の変化により、実際の業績は本業績予想と異なる可能性があることをご承知おき下さい。

# 財務諸表

## 貸借対照表（連結）

単位：千円、単位未満切捨

科 目	当期末 (第6期)	前期末比 (%)	前期末 (第5期)
<b>資産の部</b>			
<b>流動資産</b>	2,112,037	84.3	2,505,091
現金及び預金	726,073	41.4	1,754,610
売掛金	430,786	208.0	207,154
たな卸資産	4,853	—	—
営業投資有価証券	945,305	—	—
投資損失引当金	△24,800	—	—
前払費用	3,227	80.1	4,027
前渡金	—	—	519,600
未収消費税等	6,385	36.0	17,730
その他	20,204	1,026.6	1,968
<b>固定資産</b>	1,161,732	118.9	977,378
<b>有形固定資産</b>	47,857	161.0	29,729
建 物	7,908	76.4	10,353
工具器具及び備品	39,949	206.2	19,375
<b>無形固定資産</b>	525,657	2,406.4	21,844
電話加入権	144	100.0	144
ソフトウェア	4,983	23.0	21,700
販売権	76,190	—	—
化合物利用権	444,258	—	—
その他	81	—	—
<b>投資その他の資産</b>	588,216	63.5	925,804
投資有価証券	475,421	62.5	760,493
関係会社株式	56,237	44.1	127,609
長期貸付金	15,327	—	—
差入敷金・保証金	41,071	110.9	37,022
その他	158	23.3	678
<b>資産合計</b>	3,273,769	94.0	3,482,469

科 目	当期末 (第6期)	前期末比 (%)	前期末 (第5期)
<b>負債の部</b>			
<b>流動負債</b>	182,205	118.1	154,279
買掛金	16,489	18.0	91,734
未払費用	55,824	105.0	53,170
未払法人税等	25,021	557.6	4,487
未払消費税等	4,229	2,416.6	175
前受金	3,703	256.6	1,443
預り金	3,231	98.9	3,267
繰延税金負債	36,662	—	—
その他	37,044	—	—
<b>固定負債</b>	807,531	61.9	1,303,731
社債	800,000	61.5	1,300,000
繰延税金負債	7,531	201.8	3,731
<b>負債合計</b>	989,736	67.9	1,458,011
<b>少数株主持分</b>			
少数株主持分	3,838	77.3	4,967
<b>資本の部</b>			
資本金	1,438,781	124.7	1,153,946
資本剰余金	1,972,045	116.9	1,687,212
利益剰余金	△1,194,671	—	△817,744
その他有価証券評価差額金	64,094	—	△3,869
自己株式	△55	100.0	△55
<b>資本合計</b>	2,280,194	112.9	2,019,490
<b>負債、少数株主持分及び資本合計</b>	3,273,769	94.0	3,482,469

## 損益計算書（連結）

単位：千円、単位未満切捨

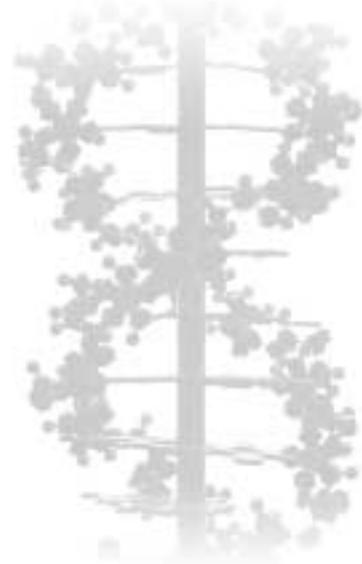
科 目	当期 (第6期)	前期比 (%)	前期 (第5期)
売上高	743,359	193.0	385,233
売上原価	420,948	177.2	237,520
売上総利益	322,410	218.3	147,713
販売費及び一般管理費	681,702	96.7	705,019
営業損失	359,291	64.5	557,306
営業外収益	6,819	86.6	7,874
受取利息	452	239.2	189
為替差益	2,136	—	—
受取助成金等	833	11.5	7,220
有価証券売却益	2,937	—	—
雑収入	460	99.4	463
営業外費用	59,065	94.5	62,524
支払利息	152	—	—
新株発行費	3,706	23.1	16,020
社債発行費	—	—	9,516
為替差損	—	—	25,381
投資事業組合等損失	6,668	—	—
持分法による投資損失	20,625	194.1	10,627
支払手数料	25,980	—	—
雑損失	1,932	197.5	978
経常損失	411,537	67.2	611,956
特別利益	855	—	—
関係会社株式売却益	855	—	—
特別損失	—	—	16,922
固定資産除却損	—	—	10,910
本社移転費用	—	—	6,011
税金等調整前当期純損失	410,682	65.3	628,879
法人税、住民税及び事業税	15,899	606.6	2,621
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△1,128	—	961
当期純損失	425,452	67.3	632,462

## キャッシュ・フロー計算書（連結）

単位：千円、単位未満切捨

科 目	当期 (第6期)	前期 (第5期)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 728,391	△1,117,166
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 377,280	△ 947,947
財務活動によるキャッシュ・フロー	65,961	1,442,574
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,174	△ 30,511
現金及び現金同等物の減少額	△1,038,536	△ 653,050
現金及び現金同等物の期首残高	1,754,610	2,399,536
新規連結による現金及び現金同等物の増加額	—	8,124
現金及び現金同等物の期末残高	716,073	1,754,610

※連結対象子会社は(株)メディビック・アライアンス、(株)アドバンスト・メディカル・ゲートウェイの2社であります。



## 会社の概況 (2005年12月31日現在)

設立 : 2000年2月17日  
資本金 : 14億3,878万円  
所在地 : 〒100-0013  
東京都千代田区霞が関1-4-2  
大同生命霞が関ビル8F  
TEL : 03-5510-2407

事業所 : 関西支社、上海駐在員事務所  
従業員 : 29名  
主要取引銀行 : 株式会社三井住友銀行 日比谷支店  
株式会社UFJ銀行 新橋支店  
(※株式会社三菱東京UFJ銀行 新橋駅前支店)  
株式会社東京三菱銀行 新橋支店  
(※株式会社三菱東京UFJ銀行 新橋支店)  
※株式会社UFJ銀行と株式会社東京三菱銀行は  
2006年1月1日より合併し、※に名称変更し  
ております。

グループ会社 : (株)メディビック・アライアンス  
(株)アドバンスト・メディカル・ゲートウェイ  
アネクス・ファーマシューティカルズ・インク  
※2006年7月の持株会社移行に伴い、グループ  
の再編を行う予定です。

### 取締役

代表取締役社長	橋本康弘
取締役副社長	大前トモ子
専務取締役	小林光
取締役	佐藤喬俊

### 監査役

常勤監査役	木下郁大
監査役	中村薫竹
監査役	富岡和治

### 執行役員

執行役員	喜多見浩次
執行役員	川井隆史
執行役員	野津克忠



<http://www.medibic.com/>

当社はIR活動の一環として、ホームページによる情報発信の充実に努めています。

詳細な事業概要、ビジネスモデルの解説、財務データの適時掲載の他、会社説明会などのIRイベント開催についてもお知らせしています。

ぜひアクセスいただき、ご活用をお願いいたします。

### ●会社説明会ストリーミング

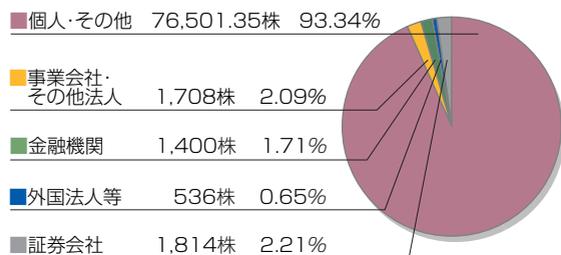
当社HP上にて、会社説明会の様子を動画配信でお伝えしています。経営陣の肉声による詳細な戦略解説や質疑応答を通して、よりわかりやすい形で当社をご理解いただけます。

# 株式の状況 (2005年12月31日現在)

## 株式状況

発行する株式の総数	154,944株
発行済株式の総数	81,959.35株
株主数	10,818名

## 所有者別株式分布状況



## 大株主 (上位10名)

株主名	持株数(株)	議決権比率(%)
橋本康弘	20,177	24.62
大阪証券金融株式会社(業務口)	1,318	1.61
松井証券株式会社(一般信用口)	588	0.72
マネックス証券株式会社	548	0.67
株式会社アルテミス	519	0.63
大川松次	327	0.40
小林光	322	0.39
大森謙一	305	0.37
大前トモ子	300	0.37
大和証券株式会社	225	0.27

## 新株予約権付社債の状況

銘柄	発行年月	発行総額	累計行使額	行使率	転換価額
2007年満期円建株式会社メディビック 転換社債型新株予約権付社債	平成16年10月	14億円	6億円	42.86%	91,000円

※転換価額については3ヶ月毎に調整を行っております。(表記価額は平成18年2月1日以降の適用価額となります。)

## 株主メモ

- 決算期 12月31日
- 定時株主総会 3月中
- 株主確定基準日 12月31日
- 株式の売買単位 1株
- 名義書換代理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
(お問合せ先) 〒171-8508  
東京都豊島区西池袋一丁目7番7号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-707-696 (フリーダイヤル)
- 同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店  
野村證券株式会社 全国本支店
- お知らせ 住所変更、配当金振込指定・変更に必要な  
各用紙、及び株式の相続手続依頼書  
のご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤル  
**0120-864-490**及びホームページ  
([http://www.tr.mufg.jp/daikou/tetsuzuki\\_01.html](http://www.tr.mufg.jp/daikou/tetsuzuki_01.html))  
にて24時間承っておりますので、ご利用下さい。  
(証券保管振替制度をご利用の株主様は、  
お取引の証券会社にお申し出下さい。)
- 公告の方法 電子公告(当社ホームページ <http://www.medibic.com>)。但し、やむを得  
ない事由により、電子公告によるこ  
とができない場合は、日本経済新聞に掲  
載いたします。
- 証券コード 2369

# MediBic

■ 当冊子についてのお問合せ先 ■

**株式会社メディビック** 管理本部

本社 / 〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-2大同生命霞が関ビル8F TEL. 03-5510-2407

**r100**  
古紙配合率100%再生紙

PRINTED WITH  
**SOYINK**™